

那覇西(4年ぶり)興南(15年連続)V

女子那覇西、精神力光る



相手の猛追動じず

得点を決めるたびに、60と晴れ晴れした表情。試合後、強い重圧をかけて得点源を封じ、勝利を決定付けた。0人超の応援団が地鳴りのよ、は応援団のもとに駆け寄り、うな大歓声を上げる。那覇西、勝利のダンスで喜びを分かち合う選手たちは仲間たちの期待にこたえる堂々としたプレーを見せ、24-18で浦添を退けた。金城有華主将は「(声援が)気持ち良かった。全国大会へ、那覇西は横一線守備で低い絶対にくという気持ちで臨位置に陣取った。堅く守り、驚かすので、とてもうれしい」と異とする浦添の左サイドに強い精神力が光った。

ハイライト
 喜納歩菜が高さのあるシュートで得点を重ねた。試合終盤は20-12で大振りドするが、守備が甘くなり、点差を詰められた。しかし、センターで司令塔の久場川かきた。決勝は、追いつけられりながら切り込んで2連続でも動じない強い精神力が光った。

2019年度県高校総体は4日、県内各地で各競技を行った。バレーボールは男女決勝リーグを行い、女子首里が3戦全勝で56年ぶり4回目の頂点に立った。男子西原も3戦全勝で制した。ハンドボール女子是那覇西が24-18で浦添を下し、4年ぶり10回目の優勝を果たし、男子は興南が15連覇を達成した。バスケット

2019 県高校総体

ボールは男子豊貴城が初制覇、女子西原は2連覇した。ボクシングのピン級は、昨年の全国総体8強の砂川朝都夢(那覇工業3年)が優勝した。フライ級は比嘉政太(宜野湾3年)が初めての栄光をつかんだ。卓球は学校対抗を行い、男子は宮古が2連覇、女子は普天間が制した。(1面に関連)

男子	女子
興南 32-13 コザ	那覇西 24-18 浦添
興南は15年連続31回目の優勝	那覇西は4年ぶり10回目の優勝

最多の7得点を挙げた喜納は「いつも打ち抜くことを徹底してたので、(貢献できて)良かったと喜んだ。久場川は「全国で頂点を狙う」ときっぱり。集大成で夏に臨む。(喜慶武研伍)

女子決勝 那覇西一浦添、きついマークの中、果敢にジャンプシュートを決める那覇西のエース喜納歩菜(中央)＝4日、沖縄市体育館

4年ぶり10回目の頂点に立ち、はじけるような笑顔を見せる女子那覇西



男子興南、19点差圧倒 堅守速攻、随所にらしさ

○：興南は練習時から徹底も得点を決めるなど層の底してきた堅守速攻に加厚さを示した。決勝はコザを32-13で圧倒。チーム最



15年連続31回目の頂点に立った男子興南

多くの6得点を挙げた池間飛勇は「速攻や早いパス回しなど、興南らしいハンドができた」と喜んだ。3-2-1守備でボールを奪って、素早く速攻につなげた。エースの伊禮雅太が徹底的にマークされても右45度の池間が奮起。マークに遭いながらも、割って入っては強力シュートを決めた。全国選抜(3月)は3回戦で大体大浪商(大阪)に23-30で涙をのんだ。伊禮主将は「チームは成長している。全国は勝ちたい」と活躍を誓った。

男子決勝 興南一コザ チーム最多の6得点を挙げた興南の右45度・池間飛勇(中央)